

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。※外部評価実施軽減手続きに必要な参考資料となりますので、必ずご記入の上、写しを県社協にご提出ください。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10, 20	外出、交流が困難な状況にあり、家族間交流はもちろん、地域交流が出来ていない	万全な感染予防を実施し、家族会や地域資源を活用、地域の一員として生活できる状況を作っていく。	現在文書による交流が中心で個々の繋がりとなっているが、ズームやSNS等の活用により、家族間交流を復活させる。地域資源の活用も再開させたい。	12ヶ月
2	33	入居者の高齢化、重度化の進行が著しく、住み慣れた場所で楽しく生活してほしいとの家族の希望によりグループホームの本来の活動が停滞している傾向がある。	グループホームの位置付けやここだからこそできる処遇を重視した活動を目指していく。	家族交流を活性化し、本人の状況を家族に理解していただけるための働きかけを行い、ご本人にあった生活を一緒に考えていく。	12ヶ月
3		防災対策については、独自のマニュアル作成できたが、変化し続ける感染症対策についてはグループホームとして独自なものが作成できていない	感染症ごとに綿密なマニュアルを早急に作成する。	保健所、主治医の指導を参考に、医務、施設内の感染症委員会と連携し症状ごとに対応マニュアルを作成する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月